

第四次実施計画事業シート（平成29年度事務事業評価）

新規・継続	継続	主要事業	×	事業コード	1010107
-------	----	------	---	-------	---------

➔ 【継続】の場合の区分 拡大

部等名	課等名	班等名
健康福祉部	社会福祉課	厚生班

事業(予算)名	社会福祉総務事業
---------	----------

総合計画体系	施策の大綱	第1章 手をつなぎ、みんなで目指す、明るく元気なまち						
	施策	施策1 市民みんなで支えあう地域福祉ネットワークの充実						
	施策の展開	(1) とともに支えあう地域福祉ネットワークの構築						
予算科目	会計	一般	款	3	項	1	目	1
関連計画・根拠法令等	社会福祉法							
事業期間	開始年度	開始する理由			終了予定年度	終了する理由		
	—				—			

事業の概要	現状(課題・ニーズ)	社会福祉の推進・地域住民の福祉向上のため、民生委員・児童委員活動をはじめとした各種団体への財政的な補助や、更生保護の啓発活動を実施している。						
	対象(誰・何を)	市民						
	事業内容(課題・ニーズの解決策)	職員給与費・非常勤職員・臨時職員関係経費 民生委員関係経費・保護司報償費・地域福祉審議会委員報酬・地域福祉専門部会委員報償 国民生活基礎調査関係経費・社会を明るくする運動関係経費・事務用消耗品 社会福祉課共用車関係経費・市民法律相談委託料(市民法律相談・社会福祉法人指導監査業務) 負担金(千葉県更生保護助成協会・成田八街地区保護司会・千葉県遺族会) 補助金(遺族会・民生委員児童委員協議会・更生保護活動団体・社会福祉協議会事業推進費) 【平成30年度新規】忠魂碑移設工事請負費(3,406千円)						
	事業手法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理者制度 <input type="checkbox"/> PFI <input type="checkbox"/> その他の民間活用 ( )						
	事業手法選択の理由	忠魂碑の移設は、専門性を伴った工事のため委託して実施する。						
	協働の取組	無	協働の取組内容					

指標	単位	実績値	目標値		指標として設定する理由	
		29年度	30年度	31年度		32年度
忠魂碑移設工事	実施		実施	—	—	清掃活動や慰霊参拝を常時可能とし倒壊等の危険を回避するため
社会を明るくする運動作文参加者	人	58	80	100	130	犯罪・非行のない明るい社会について小中学生が考える機会とするため
後期基本計画における指標	単位	実績値26年度	目標値32年度	指標(後期基本計画)の達成に寄与する理由		
総合戦略における指標等	単位	基準値(年度)	目標値31年度	区分	指標又は重要業績評価指標(KPI)の達成に寄与する理由	
		( )				
		( )				
		( )				

事業(予算)名	部等名	課等名	班等名
社会福祉総務事業	健康福祉部	社会福祉課	厚生班

指標	単位	29年度(第三次実施計画)		30年度		31年度			
		目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値		
第四次実施計画	忠魂碑移設工事	実施	—	—	実施		—		
	社会を明るくする運動作文参加者	人	—	—	80		100		
			—	—	—	—	—	—	
第三次実施計画	活動指標*	民生委員・児童委員活動実績	人	9,000	9,124	—	—	—	—
		法律相談実施件数(人)	件	200	159	—	—	—	—
		社会を明るくする運動参加者数	人	100	45	—	—	—	—
	成果指標*	民生委員・児童委員活動実績	人	9,000	9,124	—	—	—	—
		法律相談実施件数(人)	件	200	159	—	—	—	—
		社会を明るくする運動参加者数	人	100	45	—	—	—	—

\* 活動指標:事務事業の活動量を表す指標 \* 成果指標:達成度を表す指標

評価	平成29年度	事業効果	相当程度効果があった
		判断理由	行政と地域住民がともに支えあう地域福祉ネットワークの構築の観点からも、相当程度の効果があったものと思われる。なお、社会を明るくする運動については、実施時期が7月1日と猛暑の時期であったことから、参加人員が減となった。
		実績値を踏まえた今後の方針	事業の継続
		今後の方針の理由及び今後の予定	事業については継続し、より良い事業の改善等があれば、適宜対応していきたいと考えている。
	平成30年度	事業効果	
		判断理由	
		実績値を踏まえた今後の方針	
		今後の方針の理由及び今後の予定	
	平成31年度	事業効果	
		判断理由	
		実績値を踏まえた今後の方針	
		今後の方針の理由及び今後の予定	

第四次実施計画事業シート（平成29年度事務事業評価）

新規・継続	継続	主要事業	×	事業コード	1010107
-------	----	------	---	-------	---------



【継続】の場合の区分	拡大
------------	----

部等名	課等名	班等名
健康福祉部	社会福祉課	厚生班

事業(予算)名	福祉センター管理運営事業
---------	--------------

総合計画体系	施策の大綱	第1章 手をつなぎ、みんなで目指す、明るく元気なまち						
	施策	施策1 市民みんなで支えあう地域福祉ネットワークの充実						
	施策の展開	(1) とともに支えあう地域福祉ネットワークの構築						
予算科目	会計	一般	款	3	項	1	目	5
関連計画・根拠法令等	富里市地域福祉計画・地域福祉活動計画, 公共施設等総合管理計画, 災害対策基本法							
事業期間	開始年度	開始する理由			終了予定年度	終了する理由		
		単年度繰返し						

事業の概要	現状(課題・ニーズ)	施設の経年的な老朽状況や利用状況を踏まえて、中長期的な観点から施設の有効活用と財政負担の軽減を図りながら、施設の長寿命化を含めた適正な維持管理が求められている。						
	対象(誰・何を)	福祉センター施設						
	事業内容(課題・ニーズの解決策)	施設の維持管理						
	事業手法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理者制度 <input type="checkbox"/> PFI <input type="checkbox"/> その他の民間活用 ( )						
	事業手法選択の理由	改修計画に基づいた実施設計・工事により、専門性を伴った事業となるため。						
	協働の取組	無	協働の取組内容					

指標	指標	単位	実績値		目標値		指標として設定する理由
			29年度	30年度	31年度	32年度	
指標	福祉センター改修工事実施設計	策定		策定			改修工事実施のため
	福祉センター改修工事	実施			実施 工期Ⅰ・Ⅱ	実施 工期Ⅲ・Ⅳ	改修工事実施のため
	光回線用LANケーブル敷設工事	実施		実施			改修工事実施のため
	後期基本計画における指標	単位	実績値 26年度	目標値 32年度	指標(後期基本計画)の達成に寄与する理由		
	福祉サービスボランティア団体数	団体	50	55	協働による地域福祉活動を促進するために、市民の活動の拠点となる場所の充実を図る。		
指標	総合戦略における指標等	単位	基準値(年度)	目標値 31年度	区分	指標又は重要業績評価指標(KPI)の達成に寄与する理由	
			( )				
			( )				
			( )				

事業(予算)名	部等名	課等名	班等名
福祉センター管理運営事業	健康福祉部	社会福祉課	厚生班

指標	単位	29年度(第三次実施計画)		30年度		31年度			
		目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値		
第四次実施計画	福祉センター改修工事実施設計	実施	—	—	策定				
	福祉センター改修工事	実施	—	—			実施工期Ⅰ・Ⅱ		
	光回線用LANケーブル敷設工事	実施	—	—	実施				
第三次実施計画	活動指標*	老人福祉センター利用者数	人	9,000	9,782	—	—	—	—
		地域福祉センター利用者数	人	10,000	10,146	—	—	—	—
				—	—	—	—	—	—
	成果指標*	老人福祉センター利用者数	人	9,000	9,782	—	—	—	—
		地域福祉センター利用者数	人	10,000	10,146	—	—	—	—
				—	—	—	—	—	—

\* 活動指標:事務事業の活動量を表す指標 \* 成果指標:達成度を表す指標

評価	平成29年度	事業効果	相当程度効果があった
		判断理由	高齢者や障害児等が地域社会に参加する場の一つとなっており、地域交流に結びついていると思われる。
		実績値を踏まえた今後の方針	事業の継続
		今後の方針の理由及び今後の予定	事業は継続するものの、全体的に施設が老朽化していることから、その改善について検討していく必要がある。
	平成30年度	事業効果	
		判断理由	
		実績値を踏まえた今後の方針	
		今後の方針の理由及び今後の予定	
	平成31年度	事業効果	
		判断理由	
		実績値を踏まえた今後の方針	
		今後の方針の理由及び今後の予定	

第四次実施計画事業シート（平成29年度事務事業評価）

新規・継続	継続	主要事業	×	事業コード	1040107
-------	----	------	---	-------	---------



【継続】の場合の区分	拡大
------------	----

部等名	課等名	班等名
健康福祉部	社会福祉課	障害福祉班

事業(予算)名	障害者総合支援医療事業
---------	-------------

総合計画体系	施策の大綱	第1章 手をつなぎ、みんなで目指す、明るく元気なまち						
	施策	施策4 地域での安心した生活を支える障がい者福祉の充実						
	施策の展開	(1) 生活支援サービスの充実						
予算科目	会計	一般	款	3	項	1	目	4
関連計画・根拠法令等	障害者基本法 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律							
事業期間	開始年度	開始する理由			終了予定年度	終了する理由		
		単年度繰返し						

事業の概要	現状(課題・ニーズ)	利用者負担3割分(通常)のうち2割分を給付し、利用者負担を1割に軽減するシステムとなっているが、近年、生活保護受給者での更生医療受給患者が増し医療費全体の支払いを更生医療で賄っている状況下の中で、給付量の伸びも大きくなってきている。						
	対象(誰・何を)	身体障害者(一定の障害に限る)						
	事業内容(課題・ニーズの解決策)	更生医療及び育成医療という通常の医療で一定期間の治療がされた障害者(児)に対して、日常生活をするうえでの支障が少なくなるよう障害を軽くしたり、回復させるための手術などの費用に対し利用者負担を軽減するための給付事業。						
	事業手法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理者制度 <input type="checkbox"/> PFI <input type="checkbox"/> その他の民間活用 ( )						
	事業手法選択の理由	市町村事務						
	協働の取組	無	協働の取組内容					

指標	単位	実績値	目標値				指標として設定する理由
		29年度	30年度	31年度	32年度		
更生医療の給付者数	件	746	746	746	746	医療給付の実態を反映しているため	
育成医療の給付者数	件	22	22	22	22	医療給付の実態を反映しているため	
後期基本計画における指標	単位	実績値 26年度	目標値 32年度	指標(後期基本計画)の達成に寄与する理由			
総合戦略における指標等	単位	基準値 (年度)	目標値 31年度	区分	指標又は重要業績評価指標(KPI)の達成に寄与する理由		
		( )					
		( )					
		( )					

事業(予算)名	部等名	課等名	班等名
障害者総合支援医療事業	健康福祉部	社会福祉課	障害福祉班

指標	単位	29年度(第三次実施計画)		30年度		31年度			
		目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値		
第四次実施計画	更生医療の給付者数	件	—	—	746		746		
	育成医療の給付者数	件	—	—	22		22		
			—	—	—	—	—	—	
第三次実施計画	活動指標*	更生医療, 育成医療の給付者数	人	80	96	—	—	—	—
				—	—	—	—	—	—
				—	—	—	—	—	—
	成果指標*	更生医療, 育成医療の給付者数	人	80	96	—	—	—	—
				—	—	—	—	—	—
				—	—	—	—	—	—

\* 活動指標: 事務事業の活動量を表す指標

\* 成果指標: 達成度を表す指標

評価	平成29年度	事業効果	相当程度効果があった
		判断理由	障害者総合支援法に基づき実施しており, 継続治療によって, 日常生活をする上で心身の障害が軽減又は回復するための手術等の費用に対して利用者負担が軽減されている。
		実績値を踏まえた今後の方針	事業の継続
		今後の方針の理由及び今後の予定	法に基づき実施しており, 継続して事業を実施する。
	平成30年度	事業効果	
		判断理由	
		実績値を踏まえた今後の方針	
		今後の方針の理由及び今後の予定	
	平成31年度	事業効果	
		判断理由	
		実績値を踏まえた今後の方針	
		今後の方針の理由及び今後の予定	

第四次実施計画事業シート（平成29年度事務事業評価）

新規・継続	継続	主要事業	×	事業コード	1040107
-------	----	------	---	-------	---------



【継続】の場合の区分	継続
------------	----

部等名	課等名	班等名
健康福祉部	社会福祉課	障害福祉班

事業(予算)名	障害者総合支援介護・訓練等給付事業
---------	-------------------

総合計画体系	施策の大綱	第1章 手をつなぎ、みんなで目指す、明るく元気なまち						
	施策	施策4 地域での安心した生活を支える障がい者福祉の充実						
	施策の展開	(1) 生活支援サービスの充実						
予算科目	会計	一般	款	3	項	1	目	4
関連計画・根拠法令等	障害者基本法, 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律							
事業期間	開始年度	開始する理由			終了予定年度	終了する理由		
		単年度繰返し						

事業の概要	現状(課題・ニーズ)	障害福祉サービスの給付を実施						
	対象(誰・何を)	障害者, 障害児, 難病療養者						
	事業内容(課題・ニーズの解決策)	障害者総合支援法に基づく障害福祉サービスについて, 障害支援区分等の状況に応じて, 生活又は療養に必要な介護, 身体的又は社会的なリハビリテーション, 補装具の給付, 就労支援等を実施						
	事業手法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理者制度 <input type="checkbox"/> PFI <input checked="" type="checkbox"/> その他の民間活用 ( )						
	事業手法選択の理由	障害者総合支援法に規定するサービス給付事業						
	協働の取組	無	協働の取組内容					

指標	単位	実績値	目標値		指標として設定する理由	
		29年度	30年度	31年度		32年度
障害者総合支援介護訓練等給付者数	人	229	229	229	229	障害福祉サービスの利用の実態を反映しているため
障害児給付者数	人	113	113	113	113	障害福祉サービスの利用の実態を反映しているため
後期基本計画における指標	単位	実績値 26年度	目標値 32年度	指標(後期基本計画)の達成に寄与する理由		
総合戦略における指標等	単位	基準値 (年度)	目標値 31年度	区分	指標又は重要業績評価指標(KPI)の達成に寄与する理由	
		( )				
		( )				
		( )				

事業(予算)名	部等名	課等名	班等名
障害者総合支援介護・訓練等給付事業	健康福祉部	社会福祉課	障害福祉班

指標	単位	29年度(第三次実施計画)		30年度		31年度			
		目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値		
第四次実施計画	障害者総合支援介護訓練等給付者数	人	—	—	229		229		
	障害児給付者数	人	—	—	113		113		
			—	—	—	—	—	—	
第三次実施計画	活動指標*	障害者総合支援介護訓練等給付者数	人	200	267	—	—	—	—
				—	—	—	—	—	—
				—	—	—	—	—	—
	成果指標*	障害者総合支援介護訓練等給付者数	人	200	267	—	—	—	—
				—	—	—	—	—	—
				—	—	—	—	—	—

\* 活動指標:事務事業の活動量を表す指標 \* 成果指標:達成度を表す指標

評価	平成29年度	事業効果	非常に効果的であった
		判断理由	障害福祉サービスの適正な利用を推進することにより、地域における障害者の自立した生活を支援することができた。
		実績値を踏まえた今後の方針	事業の継続
		今後の方針の理由及び今後の予定	障害福祉サービスを必要とする人に対し、地域における自立した生活を支援するため、継続して事業を実施していく。
	平成30年度	事業効果	
		判断理由	
		実績値を踏まえた今後の方針	
		今後の方針の理由及び今後の予定	
	平成31年度	事業効果	
		判断理由	
		実績値を踏まえた今後の方針	
		今後の方針の理由及び今後の予定	



第四次実施計画事業シート（平成29年度事務事業評価）

新規・継続	継続	主要事業	×	事業コード	1040107
-------	----	------	---	-------	---------



【継続】の場合の区分	継続
------------	----

部等名	課等名	班等名
健康福祉部	社会福祉課	障害福祉班

事業(予算)名	障害者総合支援区分認定事業
---------	---------------

総合計画体系	施策の大綱	第1章 手をつなぎ、みんなで目指す、明るく元気なまち						
	施策	施策4 地域での安心した生活を支える障がい者福祉の充実						
	施策の展開	(1) 生活支援サービスの充実						
予算科目	会計	一般	款	3	項	1	目	4
関連計画・根拠法令等	障害者基本法 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律							
事業期間	開始年度	開始する理由			終了予定年度	終了する理由		
		単独年度繰返し						

事業の概要	現状(課題・ニーズ)	障害支援区分認定審査会による判定のもと、サービス給付の実施としている。						
	対象(誰・何を)	障害者						
	事業内容(課題・ニーズの解決策)	障害者総合支援法に基づくサービスの受給にあたっては、障害支援区分認定審査会により判定する必要があることから、障害者の生活状況や必要とされる支援の度合などについて調査し、障害支援区分の認定により、支援を総合的に行う。						
	事業手法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理者制度 <input type="checkbox"/> PFI <input type="checkbox"/> その他の民間活用 ( )						
	事業手法選択の理由	市町村事務						
	協働の取組	無	協働の取組内容					

指標	単位	実績値	目標値		指標として設定する理由	
		29年度	30年度	31年度		32年度
障害程度区分自立支援認定審査会審査件数	件	80	89	63	80	審査件数でしか事業の成果を判断できないため
後期基本計画における指標	単位	実績値 26年度	目標値 32年度	指標(後期基本計画)の達成に寄与する理由		
総合戦略における指標等	単位	基準値 (年度)	目標値 31年度	区分	指標又は重要業績評価指標(KPI)の達成に寄与する理由	
		( )				
		( )				
		( )				

事業(予算)名	部等名	課等名	班等名
障害者総合支援区分認定事業	健康福祉部	社会福祉課	障害福祉班

指標	単位	29年度(第三次実施計画)		30年度		31年度			
		目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値		
第四次実施計画	障害程度区分自立支援認定審査会審査件数	件	—	—	89		63		
			—	—	—	—	—	—	
			—	—	—	—	—	—	
第三次実施計画	活動指標*	障害程度区分自立支援認定審査会審査件数	件	90	84	—	—	—	—
				—	—	—	—	—	—
				—	—	—	—	—	—
	成果指標*	障害程度区分自立支援認定審査会審査件数	件	90	84	—	—	—	—
				—	—	—	—	—	—
				—	—	—	—	—	—

\* 活動指標:事務事業の活動量を表す指標 \* 成果指標:達成度を表す指標

評価	平成29年度	事業効果	効果があった
		判断理由	障害者総合支援法に基づく障害福祉サービス(介護給付)の利用に必要な支援区分判定の審査会において、84名(更新者71名、新規申請者13名)が自立に向けた生活支援に必要とされるサービスが利用できるようになった。
		実績値を踏まえた今後の方針	事業の継続
		今後の方針の理由及び今後の予定	障害者総合支援法に基づく障害福祉サービス(介護給付)の利用には支援区分の認定が定められているため、継続して事業を行う。
	平成30年度	事業効果	
		判断理由	
		実績値を踏まえた今後の方針	
		今後の方針の理由及び今後の予定	
	平成31年度	事業効果	
		判断理由	
		実績値を踏まえた今後の方針	
		今後の方針の理由及び今後の予定	

第四次実施計画事業シート（平成29年度事務事業評価）

新規・継続	継続	主要事業	×	事業コード	1040107
-------	----	------	---	-------	---------



【継続】の場合の区分	継続
------------	----

部等名	課等名	班等名
健康福祉部	社会福祉課	障害福祉班

事業(予算)名	障害者総合支援地域生活支援事業
---------	-----------------

総合計画体系	施策の大綱	第1章 手をつなぎ、みんなで目指す、明るく元気なまち						
	施策	施策4 地域での安心した生活を支える障がい者福祉の充実						
	施策の展開	(1) 生活支援サービスの充実						
予算科目	会計	一般	款	3	項	1	目	4
関連計画・根拠法令等	障害者基本法 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律							
事業期間	開始年度	開始する理由			終了予定年度	終了する理由		
		単年繰返し						

事業の概要	現状(課題・ニーズ)	制度上のものであるが、利用者負担等支弁単価は任意なものとなっているためか、基準額(1/2)に見合う助成がない中で、今後利用者は、増大傾向にある。					
	対象(誰・何を)	障害者					
	事業内容(課題・ニーズの解決策)	障がい者の地域での生活を支援するための、各種障害サービスの実施。 ・生活サポート…ヘルパーを居宅に派遣し、生活・家事等の支援を行う。 ・日中一時支援事業…障害者等を日常的に介護している家族の一時的な休息等並びに就業等の専念を目的とする。 ・移動支援事業…屋外での移動に困難ある障害者児に外出のための支援を行い、社会参加を促す。 ・日常生活用具給付事業…日常生活の便宜を図り、福祉の増進に資することを目的とする。 ・手話通訳等派遣					
	事業手法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理者制度 <input type="checkbox"/> PFI <input type="checkbox"/> その他の民間活用（					
	事業手法選択の理由	ヘルパーの派遣などの委託が必要な事業と、補助金の支払いなどの委託の必要のない事業が混在するため					
	協働の取組	無	協働の取組内容				

指標	単位	実績値	目標値		指標として設定する理由	
		29年度	30年度	31年度		32年度
日常生活用具給付件数	件	104	104	104	104	生活支援の実態を反映しているため
手話奉仕員養成講座参加者数	人	5	5	5	5	生活支援の実態を反映しているため
後期基本計画における指標	単位	実績値26年度	目標値32年度	指標(後期基本計画)の達成に寄与する理由		
総合戦略における指標等	単位	基準値(年度)	目標値31年度	区分	指標又は重要業績評価指標(KPI)の達成に寄与する理由	
		( )				
		( )				
		( )				

事業(予算)名	部等名	課等名	班等名
障害者総合支援地域生活支援事業	健康福祉部	社会福祉課	障害福祉班

指標	単位	29年度(第三次実施計画)		30年度		31年度			
		目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値		
第四次実施計画	日常生活用具給付件数	件	—	—	104		104		
	手話奉仕員養成講座参加者数	人	—	—	5		5		
			—	—	—	—	—	—	
第三次実施計画	活動指標*	日常生活用具給付件数	件	700	592	—	—	—	—
		手話奉仕員養成講座参加者数	人	6	5	—	—	—	—
				—	—	—	—	—	—
	成果指標*	日常生活用具給付件数	件	700	592	—	—	—	—
		手話奉仕員養成講座参加者数	人	6	5	—	—	—	—
				—	—	—	—	—	—

\* 活動指標:事務事業の活動量を表す指標

\* 成果指標:達成度を表す指標

評価	平成29年度	事業効果	非常に効果的であった
		判断理由	地域生活支援サービスの適正な利用を推進することにより、地域における障害者の自立した生活を支援することができた。
		実績値を踏まえた今後の方針	事業の継続
		今後の方針の理由及び今後の予定	多様化する障害福祉ニーズに対し、地域の特性に合わせ柔軟に対応するため、継続して事業を実施していく。
	平成30年度	事業効果	
		判断理由	
		実績値を踏まえた今後の方針	
		今後の方針の理由及び今後の予定	
	平成31年度	事業効果	
		判断理由	
		実績値を踏まえた今後の方針	
		今後の方針の理由及び今後の予定	

第四次実施計画事業シート（平成29年度事務事業評価）

新規・継続  継続  主要事業  ○ 事業コード 1040107

➔ 【継続】の場合の区分 拡大

部等名	課等名	班等名
健康福祉部	社会福祉課	障害福祉班

事業(予算)名 障害者福祉総務事業

総合計画体系	施策の大綱	第1章 手をつなぎ、みんなで目指す、明るく元気なまち						
	施策	施策4 地域での安心した生活を支える障がい者福祉の充実						
	施策の展開	(1) 生活支援サービスの充実						
予算科目	会計	一般	款	3	項	1	目	4
関連計画・根拠法令等	障害者基本法 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律							
事業期間	開始年度	開始する理由			終了予定年度	終了する理由		
		単年度繰返し						

事業の概要	現状(課題・ニーズ)	障害のある方が、住み慣れた地域で安心して生活できるように経済的な支援を行うことが障害福祉の充実に結びついていると考える。						
	対象(誰・何を)	障害者及び難病による療養者						
	事業内容(課題・ニーズの解決策)	収入を得ることが難しい重度障害者や難病による療養者に手当等を給付することにより生活の安定を図る。						
	事業手法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理者制度 <input type="checkbox"/> PFI <input type="checkbox"/> その他の民間活用 ( )						
	事業手法選択の理由	市町村事務						
	協働の取組	無	協働の取組内容					

指標	単位	実績値	目標値			指標として設定する理由
		29年度	30年度	31年度	32年度	
在宅重度心身障害者(児)福祉手当	人	620	620	620	620	経済的支援の実態を反映しているため
重度心身障害者等医療費助成受給者	人	594	594	594	594	経済的支援の実態を反映しているため
後期基本計画における指標	単位	実績値26年度	目標値32年度	指標(後期基本計画)の達成に寄与する理由		
総合戦略における指標等	単位	基準値(年度)	目標値31年度	区分	指標又は重要業績評価指標(KPI)の達成に寄与する理由	
		( )				
		( )				
		( )				

事業(予算)名	部等名	課等名	班等名
障害者福祉総務事業	健康福祉部	社会福祉課	障害福祉班

指標	単位	29年度(第三次実施計画)		30年度		31年度			
		目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値		
第四次実施計画	在宅重度心身障害者(児)福祉手当	人	—	—	620		620		
	重度心身障害者等医療費助成受給者	人	—	—	594		594		
			—	—	—	—	—	—	
第三次実施計画	活動指標*	重度心身障害者等医療費助成対象者	人	620	596	—	—	—	—
		在宅重度心身障害者(児)福祉手当	人	610	619	—	—	—	—
		特定疾患見舞金	件	2,800	1,630	—	—	—	—
	成果指標*	地域移行数	人	4	0	—	—	—	—
		一般就労移行者数	人	4	2	—	—	—	—
				—	—	—	—	—	—

\* 活動指標:事務事業の活動量を表す指標 \* 成果指標:達成度を表す指標

評価	平成29年度	事業効果	相当程度効果があった
		判断理由	障害のある方が、住み慣れた地域で安心して生活できるように経済的な支援を行うことにより障害福祉の充実に結びついた。特定疾患見舞金については、目標値と乖離しているが金額の見直し及び支給時期の変更を実施したことによるもの。
		実績値を踏まえた今後の方針	事業の継続
		今後の方針の理由及び今後の予定	経済的支援を中心に実施していく事業であり、より社会参加できるような支援体制づくりを目指し、引き続き各種手当等の提供を継続する。
	平成30年度	事業効果	
		判断理由	
		実績値を踏まえた今後の方針	
		今後の方針の理由及び今後の予定	
	平成31年度	事業効果	
		判断理由	
		実績値を踏まえた今後の方針	
		今後の方針の理由及び今後の予定	

第四次実施計画事業シート（平成29年度事務事業評価）

新規・継続	継続	主要事業	×	事業コード	1040307
-------	----	------	---	-------	---------



【継続】の場合の区分	拡大
------------	----

部等名	課等名	班等名
健康福祉部	社会福祉課	障害福祉班

事業(予算)名	ことばの相談室運営事業
---------	-------------

総合計画体系	施策の大綱	第1章 手をつなぎ、みんなで目指す、明るく元気なまち						
	施策	施策4 地域での安心した生活を支える障がい者福祉の充実						
	施策の展開	(3) 保育・療育・教育体制の充実						
予算科目	会計	一般	款	3	項	1	目	4
関連計画・根拠法令等	ことばの相談室設置及び運営要綱							
事業期間	開始年度	開始する理由			終了予定年度	終了する理由		
	—				—			

事業の概要	現状 (課題・ニーズ)	ことばの相談室は利用者が例年増加傾向にあり、一人当たり必要とされる個別指導の回数の確保や心理発達相談の日数の確保が課題となっている。 産休代替を募集しているが言語聴覚士の応募がなく、人員の確保も課題となっている。						
	対象 (誰・何を)	市内に居住し、ことばや聞こえの発達に支援を要する小学校就学前の子どもとその保護者						
	事業内容 (課題・ニーズの解決策)	個別指導を基本に、コミュニケーション能力の習得・向上、日常生活の基本的動作の習得および集団生活に対応するための指導を行う。						
	事業手法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理者制度 <input type="checkbox"/> PFI <input type="checkbox"/> その他の民間活用 ( )						
	事業手法 選択の理由	無料相談の質や頻度を保つため						
	協働の取組	無	協働の取組内容					

指標	単位	実績値		目標値		指標として設定する理由
		29年度	30年度	31年度	32年度	
ことばの相談室 指導日数	日	72.5	168	168	168	月平均14日を個別相談の時間として確保するため。
めだか教室 指導日数	日	5	12	12	12	月1回の教室開催のため。
心理発達相談日数	日	10	24	24	24	月2日の心理発達相談を確保するため。
後期基本計画 における指標	単位	実績値 26年度	目標値 32年度	指標(後期基本計画)の達成に寄与する理由		
総合戦略におけ る指標等	単位	基準値 (年度)	目標値 31年度	区分	指標又は重要業績評価指標(KPI)の達成に 寄与する理由	
		( )				
		( )				
		( )				

事業(予算)名	部等名	課等名	班等名
ことばの相談室運営事業	健康福祉部	社会福祉課	障害福祉班

指標	単位	29年度(第三次実施計画)		30年度		31年度			
		目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値		
第四次実施計画	ことばの相談室指導日数	日	—	—	168		168		
	めだか教室指導日数	日	—	—	12		12		
	心理発達相談日数	日	—	—	24		24		
第三次実施計画	活動指標*	ことばの相談室指導日数	日	168	165	—	—	—	—
		めだか教室指導日数	日	12	12	—	—	—	—
		心理発達相談日数	日	24	24	—	—	—	—
	成果指標*	ことばの相談室利用者数	人	90	98	—	—	—	—
		めだかの教室利用者数	人	8	10	—	—	—	—
		心理発達相談利用者数	人	48	43	—	—	—	—

\* 活動指標:事務事業の活動量を表す指標 \* 成果指標:達成度を表す指標

評価	平成29年度	事業効果	相当程度効果があった
		判断理由	ことばの相談室指導日数の実績値は目標値を上回ることがなかったものの、利用者数は目標値を上回った。心理発達相談利用者数の実績値は目標値を下回ったが、それは利用者側の理由によるキャンセルや学校教育課主催の巡回相談事業に参加したことによるものである。
		実績値を踏まえた今後の方針	事業の継続
		今後の方針の理由及び今後の予定	来年度も継続を希望する利用者が50名以上おり、新規の相談希望者が例年どおり又はそれ以上増える見込みであるため。
	平成30年度	事業効果	
		判断理由	
		実績値を踏まえた今後の方針	
		今後の方針の理由及び今後の予定	
	平成31年度	事業効果	
		判断理由	
		実績値を踏まえた今後の方針	
		今後の方針の理由及び今後の予定	



第四次実施計画事業シート（平成29年度事務事業評価）

新規・継続	継続	主要事業	×	事業コード	1060207
-------	----	------	---	-------	---------



【継続】の場合の区分	継続
------------	----

部等名	課等名	班等名
健康福祉部	社会福祉課	生活支援班

事業(予算)名	自立生活支援事業
---------	----------

総合計画体系	施策の大綱	第1章 手をつなぎ、みんなで目指す、明るく元気なまち						
	施策	施策6 安心して暮らせる社会保障の充実						
	施策の展開	(2) 生活困窮者への支援						
予算科目	会計	一般	款	3	項	1	目	1
関連計画・根拠法令等	生活困窮者自立支援法							
事業期間	開始年度	開始する理由			終了予定年度	終了する理由		
	H27	生活困窮者に対し、就労・自立に向けた支援を行うため						

事業の概要	現状(課題・ニーズ)	主に阻害要因がなく就労していない生活困窮者に対して、就労相談員やハローワーク等の連携による就労支援と自立助長に向けた指導・助言等を行っている。						
	対象(誰・何を)	主な対象は、生活保護に至る前の生活困窮者等						
	事業内容(課題・ニーズの解決策)	生活困窮者に対し、就労・自立支援体制の強化を図るとともに、生活保護から脱却した人が再び生活保護に至ることがないように、自立相談支援事業を実施する。						
	事業手法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理者制度 <input type="checkbox"/> PFI <input type="checkbox"/> その他の民間活用 ( )						
	事業手法選択の理由	直営による人員配置や雇用に比べると費用対効果が期待できる。						
	協働の取組	有	協働の取組内容					

指標	単位	実績値	目標値			指標として設定する理由
		29年度	30年度	31年度	32年度	
自立支援相談受付数	件	346	200	200	200	生活困窮者への支援・助言
就労決定者数	人	76	10	10	10	事業成果の指標
後期基本計画における指標	単位	実績値 26年度	目標値 32年度	指標(後期基本計画)の達成に寄与する理由		
生活保護自立世帯数(生保のみ)	世帯	8	5	生活困窮者の自立及び生活保護の脱却に繋がる		
生活保護自立人員	人	8	6	生活困窮者の自立及び生活保護の脱却に繋がる		
総合戦略における指標等	単位	基準値 (年度)	目標値 31年度	区分	指標又は重要業績評価指標(KPI)の達成に寄与する理由	
		( )				
		( )				
		( )				

事業(予算)名		部等名	課等名		班等名			
自立生活支援事業		健康福祉部	社会福祉課		生活支援班			
指標	単位	29年度(第三次実施計画)		30年度		31年度		
		目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	
第四次実施計画	自立支援相談受付数	件	—	—	200		200	
	就労決定者数	人	—	—	10		10	
			—	—	—	—	—	
第三次実施計画	活動指標*	自立相談支援延べ件数	件	200	234	—	—	—
				—	—	—	—	—
				—	—	—	—	—
	成果指標*	支援プラン作成実件数	件	75	118	—	—	—
		支援プラン終結者数	人	15	68	—	—	—
				—	—	—	—	

\* 活動指標:事務事業の活動量を表す指標

\* 成果指標:達成度を表す指標

評価	平成29年度	事業効果	相当程度効果があった
		判断理由	本事業利用者の就労決定や就労準備支援から就労支援への移行, 本事業を利用している生活保護被保護者の就労による保護廃止や停止等, 生活困窮者の生活改善に効果を残している。
		実績値を踏まえた今後の方針	事業の継続
		今後の方針の理由及び今後の予定	本事業を利用した者の社会復帰による生活改善が図られていることから, 引き続き事業を継続して生活困窮者の支援を行うことが必要である。
	平成30年度	事業効果	
		判断理由	
		実績値を踏まえた今後の方針	
		今後の方針の理由及び今後の予定	
	平成31年度	事業効果	
		判断理由	
		実績値を踏まえた今後の方針	
		今後の方針の理由及び今後の予定	

第四次実施計画事業シート（平成29年度事務事業評価）

新規・継続	継続	主要事業	×	事業コード	1060307
-------	----	------	---	-------	---------



【継続】の場合の区分	拡大
------------	----

部等名	課等名	班等名
健康福祉部	社会福祉課	生活支援班

事業(予算)名	生活保護事業
---------	--------

総合計画体系	施策の大綱	第1章 手をつなぎ、みんなで目指す、明るく元気なまち						
	施策	施策6 安心して暮らせる社会保障の充実						
	施策の展開	(3) 生活保護制度の適正な運用						
予算科目	会計	一般	款	3	項	3	目	2
関連計画・根拠法令等	生活保護法							
事業期間	開始年度	開始する理由			終了予定年度	終了する理由		
	14	生活保護法						

事業の概要	現状(課題・ニーズ)	生活保護受給世帯については、高齢者世帯及び傷病世帯で全世帯の8割を占めており、高齢者の申請が増加している。						
	対象(誰・何を)	生活保護受給者						
	事業内容(課題・ニーズの解決策)	困窮の程度に応じ必要な保護を行い、最低限度の生活を保障するとともに自立の助長を図る。 (1)生活困窮についての相談、生活保護の申請 (2)生活保護の受給要件を確認するための調査、要否の判定 (3)最低限度の生活を維持するために必要な費用の支給 (4)生活困窮者の原因を解決し、自力で生活ができるようにするための支援と受給要件の継続的な確認 (5)状況に応じた保護の変更、停止、廃止						
	事業手法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理者制度 <input type="checkbox"/> PFI <input type="checkbox"/> その他の民間活用( )						
	事業手法選択の理由	法定受託事務						
	協働の取組	無	協働の取組内容					

指標	単位	実績値		目標値		指標として設定する理由
		29年度	30年度	31年度	32年度	
相談実件数	件	120	200	200	200	生活困窮者への援助・支援
後期基本計画における指標	単位	実績値 26年度	目標値 32年度	指標(後期基本計画)の達成に寄与する理由		
生活保護相談実件数	件	239	200	就労支援を中心に自立支援の充実に取り組む		
生活保護自立世帯数	世帯	8	5	就労支援を中心に自立支援の充実に取り組む		
生活保護自立人員	人	8	6	就労支援を中心に自立支援の充実に取り組む		
総合戦略における指標等	単位	基準値 (年度)	目標値 31年度	区分	指標又は重要業績評価指標(KPI)の達成に寄与する理由	
		( )				
		( )				
		( )				

事業(予算)名	部等名	課等名	班等名
生活保護事業	健康福祉部	社会福祉課	生活支援班

指標	単位	29年度(第三次実施計画)		30年度		31年度			
		目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値		
第四次実施計画	相談実件数	件	—	—	200		200		
			—	—	—	—	—	—	
			—	—	—	—	—	—	
第三次実施計画	活動指標*	相談実件数	件	300	185	—	—	—	—
				—	—	—	—	—	—
				—	—	—	—	—	—
	成果指標*	相談実件数	件	300	185	—	—	—	—
		生活保護自立世帯数	世帯	10	28	—	—	—	—
	生活保護自立人員	人	15	38	—	—	—	—	

\* 活動指標:事務事業の活動量を表す指標 \* 成果指標:達成度を表す指標

評価	平成29年度	事業効果	非常に効果的であった
		判断理由	生活保護自立世帯数実績値が、目標値を上回った。
		実績値を踏まえた今後の方針	事業の継続
		今後の方針の理由及び今後の予定	生活保護法第1条の規定に基づき今後も生活保護世帯の自立を助長していく。
	平成30年度	事業効果	
		判断理由	
		実績値を踏まえた今後の方針	
		今後の方針の理由及び今後の予定	
	平成31年度	事業効果	
		判断理由	
		実績値を踏まえた今後の方針	
		今後の方針の理由及び今後の予定	

第四次実施計画事業シート（平成29年度事務事業評価）

新規・継続	継続	主要事業	×	事業コード	1060307
-------	----	------	---	-------	---------

➔ 【継続】の場合の区分

継続
----

部等名	課等名	班等名
健康福祉部	社会福祉課	生活支援班

事業(予算)名	生活保護総務事業
---------	----------

総合計画体系	施策の大綱	第1章 手をつなぎ、みんなで目指す、明るく元気なまち						
	施策	施策6 安心して暮らせる社会保障の充実						
	施策の展開	(3) 生活保護制度の適正な運用						
予算科目	会計	一般	款	3	項	3	目	1
関連計画・根拠法令等	生活保護法							
事業期間	開始年度	開始する理由			終了予定年度	終了する理由		
	14	社会福祉法第14条による						

事業の概要	現状(課題・ニーズ)	制度の適正な運用と生活保護の決定・廃止・受給等, 生活保護業務全般に係る事業で, 電算システムにより業務の効率化を図っている。						
	対象(誰・何を)	被保護者に対し適正に扶助費を支給する。						
	事業内容(課題・ニーズの解決策)	生活保護嘱託医の報酬支払 事務用消耗品等の購入, 窓付封筒の印刷委託, 庁車の使用・維持管理 各関係機関・扶養義務調査等に係る経費 診療報酬の審査, 介護扶助支払の事務委託 診療報酬明細書配列及び点検委託 生活保護システムに係る電算ソフトの使用料						
	事業手法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理者制度 <input type="checkbox"/> PFI <input type="checkbox"/> その他の民間活用 ( )						
	事業手法選択の理由	法定受託事務であるため。						
	協働の取組	無	協働の取組内容					

指標	単位	実績値		目標値		指標として設定する理由
		29年度	30年度	31年度	32年度	
診療報酬明細書配列点検	件	2,400	9,500	9,500	9,500	制度の適正な運用を図る
後期基本計画における指標	単位	実績値 26年度	目標値 32年度	指標(後期基本計画)の達成に寄与する理由		
総合戦略における指標等	単位	基準値 (年度)	目標値 31年度	区分	指標又は重要業績評価指標(KPI)の達成に寄与する理由	
		( )				
		( )				
		( )				

事業(予算)名	部等名	課等名	班等名
生活保護総務事業	健康福祉部	社会福祉課	生活支援班

指標	単位	29年度(第三次実施計画)		30年度		31年度			
		目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値		
第四次実施計画	診療報酬明細書配列点検	件	—	—	9,500		9,500		
			—	—	—	—	—	—	
			—	—	—	—	—	—	
第三次実施計画	活動指標*	診療報酬明細書配列点検	件	9,500	9,450	—	—	—	—
				—	—	—	—	—	—
				—	—	—	—	—	—
	成果指標*	診療報酬明細書配列点検	件	9,500	9,450	—	—	—	—
				—	—	—	—	—	—
				—	—	—	—	—	—

\* 活動指標:事務事業の活動量を表す指標 \* 成果指標:達成度を表す指標

評価	平成29年度	事業効果	効果があった
		判断理由	内容点検の実施により、生活保護法に基づく医療扶助を適切に運用することができる。また、医療機関に対し適切な診療報酬明細書の提出を促す効果があると思われる。
		実績値を踏まえた今後の方針	事業の継続
		今後の方針の理由及び今後の予定	生活保護法による医療扶助を適正に実施するに当たり、業者による内容点検の実施は必要不可欠であり、今後も継続して実施していく。
	平成30年度	事業効果	
		判断理由	
		実績値を踏まえた今後の方針	
		今後の方針の理由及び今後の予定	
	平成31年度	事業効果	
		判断理由	
		実績値を踏まえた今後の方針	
		今後の方針の理由及び今後の予定	